

基本方針

基本方針1 既存地域公共交通を活かした利便性の向上

No.	施策
01	利便性の高いダイヤや運賃サービスの検討
02	B T S（自転車駐輪場）の整備
03	近隣市と連携した交通網の形成（くるっとバスの運行）
04	バス路線再編に向けた検討
05	バスやモーターカー等の利用データの収集と分析による運行効率化・利用促進等の検討
06	J R 守山駅西口ロータリーの改善に向けた検討
07	マイカー利用者を対象としたモビリティ・マネジメントの実施
08	A I オンデマンド交通やM a a S等の新技術の導入による既存地域公共交通の効率化等に向けた検討

基本方針2 子どもや高齢者をはじめ誰もが安心して利用できる環境づくり

No.	施策
09	高齢者利用者の多い乗り場のベンチ設置等による利用環境の向上に向けた検討
10	駅やバス停周辺のバリアフリー化等の利用環境の改善に関する検討
11	モーターカーの周知等の認知度向上に向けた取組み、乗り方講座や試し乗りの実施
12	モーターカーの乗降場所や目的地の検討、登録要件や利用方法の見直しに向けた検討
13	タクシーの役割を活かした取組み支援
14	免許返納者割引の継続
15	ギャラリーバスやラッピング車両等、バス車両を活用した関心と利用の拡大
16	バスの日まつり等の地域公共交通に親しみを持ってもらう機会の創出
17	スマートフォン等を利用した予約・決済導入に向けた検討
18	守山駅におけるわかりやすい路線バス案内の実施
19	路線バス初心者のための乗り方講座・試し乗りの実施や、新たな料金サービス等の検討
20	観光客や来訪者を取り込むための仕組みづくりや利便性向上に向けた検討

基本方針3 きめ細かな情報提供とコミュニケーションによる関心と利用の拡大

No.	施策
21	J R、路線バス、モーターカー、タクシーの利用促進を図るための積極的な情報提供
22	路線バスの現在位置情報等の提供
23	ホームページやS N S、アプリ等を活用した情報提供の実施に向けた検討
24	公共交通の担い手（乗務員等）の確保に向けた情報提供
25	幅広い層を対象としたモビリティ・マネジメントの実施

基本方針4 地域の多様な関係者との共創による地域公共交通づくり

No.	施策
26	地域公共交通のあり方を考える場の創出
27	「わ」で輝く自治会応援報償事業を活用した「公共交通に関する学習」機会の創出
28	自治会等によるバス停の清掃や維持活動等のさらなる推進
29	学校との共創：小学校等における交通環境学習等の実施
30	企業との共創：通勤での地域公共交通利用の促進
31	商業施設との共創：地域公共交通利用者を対象としたサービスの実施
32	ネーミングライツや協賛金の募集など、交通に関する新たな財源確保や制度の導入可能性の検討

4本の柱

柱Ⅰ 交通網の形成・充実

No.	施策
01	利便性の高いダイヤや運賃サービスの検討
02	B T S（自転車駐輪場）の整備
03	近隣市と連携した交通網の形成（くるっとバスの運行）
04	バス路線再編に向けた検討
05	バスやモーターカー等の利用データの収集と分析による運行効率化・利用促進等の検討
12	モーターカーの乗降場所や目的地の検討、登録要件や利用方法の見直しに向けた検討

柱Ⅱ 利用環境の向上

No.	施策
06	J R 守山駅西口ロータリーの改善に向けた検討
08	A I オンデマンド交通やM a a S等の新技術の導入による既存地域公共交通の効率化等に向けた検討
09	高齢者利用者の多い乗り場のベンチ設置等による利用環境の向上に向けた検討
10	駅やバス停周辺のバリアフリー化等の利用環境の改善に関する検討
17	スマートフォン等を利用した予約・決済導入に向けた検討
18	守山駅におけるわかりやすい路線バス案内の実施
22	路線バスの現在位置情報等の提供

柱Ⅲ 広報戦略による関心と利用の拡大

No.	施策
11	モーターカーの周知等の認知度向上に向けた取組み、乗り方講座や試し乗りの実施
15	ギャラリーバスやラッピング車両等、バス車両を活用した関心と利用の拡大
19	路線バス初心者のための乗り方講座・試し乗りの実施や、新たな料金サービス等の検討
20	観光客や来訪者を取り込むための仕組みづくりや利便性向上に向けた検討
21	J R、路線バス、モーターカー、タクシーの利用促進を図るための積極的な情報提供
23	ホームページやS N S、アプリ等を活用した情報提供の実施に向けた検討
24	公共交通の担い手（乗務員等）の確保に向けた情報提供

柱Ⅳ 公共交通利用への行動変容の促進

No.	施策
07	マイカー利用者を対象としたモビリティ・マネジメントの実施
13	タクシーの役割を活かした取組み支援
14	免許返納者割引の継続
16	バスの日まつり等の地域公共交通に親しみを持ってもらう機会の創出
25	幅広い層を対象としたモビリティ・マネジメントの実施
26	地域公共交通のあり方を考える場の創出
27	「わ」で輝く自治会応援報償事業を活用した「公共交通に関する学習」機会の創出
28	自治会等によるバス停の清掃や維持活動等のさらなる推進
29	学校との共創：小学校等における交通環境学習等の実施
30	企業との共創：通勤での地域公共交通利用の促進
31	商業施設との共創：地域公共交通利用者を対象としたサービスの実施
32	ネーミングライツや協賛金の募集など、交通に関する新たな財源確保や制度の導入可能性の検討